



▲早々と当選が決まり喜びの万歳三唱をする達増拓也氏(右から4人目)

# 小西・木村・佐藤が当選!!

## 知事選 達増氏40万票獲得し5選を果たす

- 県職労・互いの緊張関係保ち、職員の勤務・労働条件改善に全力 -



▲厳しかった選挙戦を振り返りあいさつする小西和子さん

# 佐々木友美子(奥州)、千葉進(一関)議席届かず

## 県職労課題前進のため当選県議との連携強める

2019年政治決戦の最終局面となる知事選・県議選の投票日が9月8日行われ、知事選では県職労推薦「達増拓也」さんが庄勝した。県議選では推薦候補者の必勝に向け支持浸透に全力を挙げた結果、盛岡・花巻・北上選挙区で再選を果たした。一方、奥州・一関選挙区は残念ながら議席に届かなかった。県職労は推薦候補と連携し、県職労課題はもとより、働く者の立場で県政課題の改善に向け全力を挙げる。

**【知事選】**  
現職「達増拓也」さんが自民系候補に24万票の大差で勝利を取った。達増知事は4野党共闘の統一候補として擁立。参議院議員選挙「横沢たかひ」に次いで野党統一候補として、安倍政権の中央集権的政治にNOを突きつけ、県民の幸福度を高める施策に全力を挙げる県民の民意を示すことができた。県職労として2年前から知事との直接意見交換の場を設け、県職労を取り巻く課題を訴え、知事から真摯に対応する姿勢を確認している。達増知事の再選を受け、県職労は、労使の緊張関係を保ちつつ、互いの立場から職員の勤務労働条件改善に向けて真摯な対応を求めている。その一環として、

**【県議選】**  
県職労では、推薦候補者6人の必勝に向けて組合員等への支持浸透に全力を挙げた(そのうち、滝沢選挙区・柳村一人は無投票当選)。



▲4選を決めて喜びの万歳三唱をする木村幸弘さん(写真中央)

とができた。県職労として2年前から知事との直接意見交換の場を設け、県職労を取り巻く課題を訴え、知事から真摯に対応する姿勢を確認している。達増知事の再選を受け、県職労は、労使の緊張関係を保ちつつ、互いの立場から職員の勤務労働条件改善に向けて真摯な対応を求めている。その一環として、

**【県議選】**  
県職労では、推薦候補者6人の必勝に向けて組合員等への支持浸透に全力を挙げた(そのうち、滝沢選挙区・柳村一人は無投票当選)。

訴え、支持を得ることができた。花巻選挙区・木村幸弘さんは、がんの闘病を経て、労組課題に加えて、地域医療の改善などを訴え、民主党のいのち、暮らし、教育・平和の施策を訴え、粘り強い闘いで8,398票を獲得し、4位当選に滑り込んだ。北上選挙区・佐藤ケイ子さんは自治労組織内議員としての実績とともに、北上

地域の振興策を訴え、8,810票を獲得し、激戦の末に2位当選となった。奥州選挙区・佐々木友美子さんは新人候補として教育職員の経験を活かした生活、暮らしの改善を訴えた。また、一関選挙区・千葉進さんは、再選をめざし、地域の声を県政に！のモットーで支持拡大をはかった。組合員の懸命な支持浸透で情勢を盛り返すべく必死に闘ったものの、残念

ながら、議席に届かなかった。県職労は当選議員と連携し、定期的に県職労課題を共有しながら、県政課題の改善に向け全力を挙げる。参院選・盛岡市議選・県議選等の一連の政治闘争は区切りを迎えた。厳しい結果もあったが、国政・県政・盛岡市政に意見反映できる議員が確保できたことは一連の取り組みの大きな成果。長期間にわたる組合員の取り組みに感謝します。

### 自治労県本部定期大会

日時：2019年9月28日(土)  
午前10時～午後5時  
場所：盛岡市「エスポワールいわて」

※各支部は代表議員の選出をお願いします。(各支部1人、中央執行委員会5人、現業評議会、青年婦人部は各1人の選出となります。)



▲2期目当選を果たして万歳を行う佐藤ケイ子さん

【2019県知事選挙結果】  
当選 達増 拓也 (402,803票)  
及川 敦 (155,504票)

【2019県議会議員選挙結果】  
当選 小西 和子 (盛岡) 8,803票 (5位)  
当選 木村 幸弘 (花巻) 8,398票 (4位)  
当選 佐藤ケイ子 (北上) 8,810票 (2位)  
落選 佐々木友美子 (奥州) 5,585票 (8位)  
落選 千葉 進 (一関) 7,740票 (6位)

保障のことならまず組合へ

組合員と家族の安心をバックアップ。生命・医療保障、退職後の保障から住宅や自動車の損害まで、生活全般の保障を用意しています。

自治労共済本部  
詳しくは所属する組合まで

総合(慶弔)共済 基本型・追加型 / 団体生命共済 / うちろうマイカー共済 / 火災共済・自然災害共済 / 長期共済・税制適格年金 / 親子共済



▲決意と抱負を述べる野中靖志盛岡市議

### 働く者の視点で全力挙げる

#### 盛岡市議会議員 野中やすし

8月25日に行われた盛岡市議会議員選挙で、県職労の皆様の大きなご支援をいただき、3,135票を獲得し当選させていただきました。私は、今回の選挙戦を通じて、盛岡市が直面している少子高齢化、人口減少の問題に市が取り組む必要があることを訴えてきました。盛岡市の「人口ピジョン」では、2020年に、市の人口が二十五万人を切るという推計が示されています。

私は、若者が盛岡市で働き、子どもを安心して産み育てていける環境の整備に市と中小企業者、農業者や職場の労働組合が連携してしっかりと取り組み、「少子化」に歯止めをかけていく必要があると訴えました。具体的には、最低賃金の引上げ、労働時間の短縮、保育環境整備、不妊治療の公費助成の拡大などについて、議会で訴えていきたいと思っています。

また、10月には県人事委員会勧告が出される予定であり、県職員の人権を守る立場で、月例給・一時金の全世代の引き上げと諸手当の改善など、県職労の皆様とともに全力で取り組んでまいります。これまでのご支援に心から感謝し、今後ともご指導をよろしくお願いたします。



▲向こう2年の運動方針などを決めた第92回定期大会

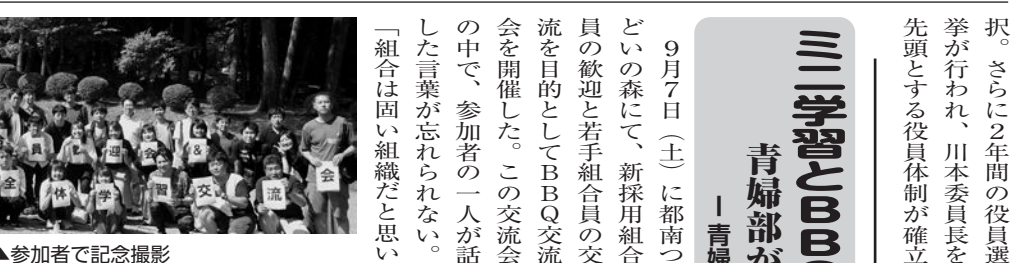
### 原点である職場での運動強化を

#### 「共感」得る取り組みから「躍動」する自治労運動へ

8月27日・29日、福岡市福岡国際センターを会場に自治労第92回定期大会が開かれ、2年間の運動方針など、19人勅・確定闘争方針など、この当面の闘争方針を確立した。

開会に当たり、自治労本部川本中央執行委員長は、「8月7日人事院勧告がされ、6年連続の賃上げ勧告となった。民間春闘の流れを踏まえ賃上げ傾向となったことは一定の評価だが、中高齢層職員の賃金水準をはじめ課題が山積している。また、住居手当を巡っては地方の実情に応じた改善を実現させなければならない。会計年度任用職員制度の交渉も山場を迎え、確定闘争と並行した課題。自治労全体としてしっかりと取り組む必要がある。先の参議院議員選挙では組織内候補が勝

り、「新採用職員等の組織化、次代の担い手育成などの柱」とともに、各課題の運動目標について提起された。岩手からは自治労県本部・及川書記長(県職労)が発言、重点支援県本部としての取組みとして県職労の新採用者加入促進の取組み報告と今後の組織拡大に向けた決意と本部の支援要請、会計年度任用職員制度に係る中央段階での総務省対策の強化(法の趣旨に沿った制度運用を各自自治体に指導すること、地方財政措置を求めた。他県本部からも、参院選結果を踏まえた組織強化と政治闘争の推進、実行力ある長時間労働は正策の要求推進、現業闘争強化による人員確保等を発言、本部方針を補強した。



▲参加者で記念撮影

### 三学習とBBQで交流深める

#### 青婦部書記長 高橋幸宏

9月7日(土)に都南ついで森にて、新採用組合員の歓迎と若手組合員の交流を目的としてBBQ交流会を開催した。この交流会の中で、参加者の一人が話した言葉が忘れられない。「組合は強い組織だと思

た。実際に、今回の交流会の企画から実施までの流れは、従来のそれとは大きく違。以前は、役員が企画し、役員以外の仲間提案を軸に企画し実施すること、つまりボトムアップ型の体制に改めた。また既存の周知方法に加え、SNSを活用し、その周知に努め

た。最後に、川本委員長が行われ、川本委員長を先頭とする役員体制が確立された。最後に、川本委員長の団結カンパニーで自治労運動の前進を誓い合った。

### 宮古支部・新体制を確立

#### 小笠原支部長・多田野書記長体制で活動スタート

県職労宮古支部は8月1日、新体制を確立した。支部長には小笠原靖さんを再選。新書記長に多田野修さんを新たに選出して支部の活動をスタートした。役員・氏名は次の通り。

- 宮古支部  
支部長 小笠原 靖 (児童相談所)
- 副支部長 前川 伸也 (岩泉末センター)
- 書記長 小田嶋世房 (宮古センター)
- 多田野 修 (林務室)

- 書記次長 大澤 仁 (林務室)
- 執行委員 安嶋 幸司 (県税室)
- 吉田 昌史 (農政推進)
- 小野寺 理 (森林振興センター)
- 立花 真一 (水産振興センター)
- 会計監事 酒井 恵一 (地域振興センター)
- 鈴木小百合 (保健福祉センター)



▲人員補充や賃金改善などに向け意思統一をはかった現業総会

「組合は強い組織だと思」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。「組合は強い組織だと思」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。

「組合の活動は楽しい」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。「組合は強い組織だと思」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。

「組合の活動は楽しい」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。「組合は強い組織だと思」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。

「組合の活動は楽しい」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。「組合は強い組織だと思」という言葉を聞いた。参加者の一人が話した言葉が忘れられない。